

今月はイタリアの民話集です。

『みどりの小鳥』 イタリア民話集

イタロ・カルヴィーノ／作 河島 英昭／訳 岩波少年文庫 岩波書店

2013年 840円

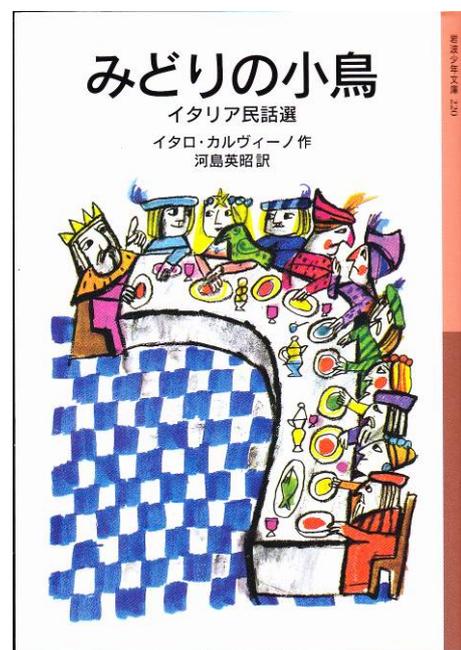
<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★★ 小高学年★★★★ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

死人の腕を賭けで手に入れた若者が、その腕を使って悪い魔法使いから人々を救い出すお話(「死人の腕」)や、そら豆の男の子が冒険をするお話(「チェチーノと雄牛」)など、ちいさな子からおおきい子まで、男の子も女の子も楽しめる、楽しいお話、怖いお話、ちょっと悲しいお話など、34のお話がつまった本です。自分で読むのがむずかしいなと思ったらぜひ大人の人に読んでもらってください。



<子どもに手渡すときのポイント>

自分で読んでも楽しい本ですが、昔話なので、大人が読んであげたり語ってあげたりしてぜひ耳で楽しんでもらいたい本です。自分でよむなら中学年以上ですが、読んであげたり語ってあげたりするなら、幼児からでも聞けるおはなしも収録されています。子どもの大好きな怖いお話も載っているのでぜひおはなし会などで語ってあげてください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。